

# かくどけい

KAKUDOKEI 2012

106号





- 001 巻頭言 「次の世代へ」 光本 しのぶ
- 002 理事会報告
- 006 各部・委員会報告  
生涯学習部  
学術部  
福祉部  
宣伝部  
調査資料部  
表彰審査委員会  
渉外部  
規約審議委員会  
保険部  
教育部  
学術事業部
- 013 学会・研修会のお知らせ① 「糖尿病小委員会研修会開催のお知らせ」
- 014 くまもと北から南から
- 016 第17回 熊本県理学療法士学会のお知らせ
- 017 事務局だより
- 018 大観望 「継続は力（ちから）なり」 前田 英児  
「理学療法士の認知度は！？」 山本 博子
- 019 他士会便り 「今と昔の新卒理学療法士」 兵庫県 No. 146  
学会・研修会のお知らせ② 「利用者・スタッフに選ばれる通所サービスセミナー」
- 020 学術事業部文献紹介
- 022 学会・研修会印象記  
学会・研修会のお知らせ③ 「介護保険領域における研修会」
- 023 くまもとの理学療法情報 PT Walker 熊本
- 024 医療・介護ナビ お役立ち便利グッズ紹介
- 025 よろず運動療法相談所 ～糖尿病小委員会～  
「仕事が忙しくてなかなか運動する時間がとれない場合」
- 026 賛助会員一覧  
編集後記
- 027 事業予定表

熊本県理学療法士協会広報部では皆様からの投稿をお待ちしております。医療や介護に関するトピックスや学会・研修会・勉強会の情報など理学療法士として伝えたい情報をお寄せください。

発行 奇数月の月末 6回/年

投稿の方法 協会事務局に原則としてメールで送付してください。

原稿の採択 「投稿規定」に則りその内容を検討し、掲載可否について審議し決定します。なお掲載にあたり、広報部より誌面の関係上原稿について執筆者との協議を通じて、内容の変更をお願いすることがあります。

お問合せ先 (社) 熊本県理学療法士協会事務局

TEL 096-389-6463

E-mail kpta\_kat@mtg.biglobe.ne.jp

## 『 次の世代へ 』

理事 光本しのぶ(訪問看護ステーションきらら)

H21 年度から訪問リハビリテーションにかかわる事について、訪問リハビリテーション対策特別委員会の一員として、教育研修・専門性・支援・調査の各チームで活動を行ってきました。

教育研修チームでは、他県には無い、理学療法士協会・作業療法士会・言語聴覚士協会・くまもと訪問リハビリテーション研究会の4団体で熊本訪問リハビリテーション研修協議会を立ち上げ、30 時間/年の訪問リハビリテーション実務者研修会を開催しています。

専門性チームでは、訪問リハビリに携わる会員による事例集を作成し、随時事例を増やしています。

支援チームでは、地域でリハビリテーション事業を起業している会員のネットワーク構築を模索し、今年9 月末には「地域でのリハビリテーション活動と現状」～未来への礎～として理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師・介護支援専門員を招いてシンポジウムを行い、様々な活動と課題を明らかにしました。

調査チームでは、世の中に訪問リハビリテーションがどれくらい認知されているか調べる手がかりとして、熊本県内の居宅介護支援事業所の介護支援専門員の方々にアンケートを取り、その結果として、手厚く訪問リハビリテーションが行われている所もあればそうでない所もあり、その為か介護支援専門員の方々の認識もさまざまでした。

その活動の中で、20 代 30 代の会員の皆さんと接する機会も多く、皆さん色々な思いを持って研修会や協会活動に参加されていて頼もしく思いました。また、協会活動でも少しずつ若い会員の参加が多くなり、私の自分のことだけで精一杯なやり方を改め世代交代も意識するようになりました。

私は現在一人職場ですので身近に後輩はいませんが、協会活動をどのように次の世代に繋いでいくのか、どのようにスムーズに繋いでいくのか考えながらの姿勢が必要なようです。そのためには今できることをしっかり行って、しっかりとした基盤を作って引き継ぐことが肝心だと思います。

その1つとして、訪問リハビリテーションの質量とも充実に向けてまだまだ活動を続けていきます。東北では特区として訪問リハビリテーション事業も開始されています。その動向も参考にしながら、熊本モデルのような活動を目指していきたいと思えます。その際は、ベテランから新人まで会員の皆様のご協力なくして協会活動は成り立ちません。ご参加、苦言、提言色々な形での協力宜しくお願いいたします。



# 理事会報告

## 平成24年度 第6回理事会資料(要約)

日時：平成24年8月1日(水)19:00~21:30

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：

(理事)北里・大島・坂崎・飯星・大脇・佐藤・三宮・  
田島・筒井・野津原・野間・増田・光本

(監事)中島

(事務局員)坂本・山内 (事務職員)石黒・前田

欠席者：

(理事)前田・川上 (監事)寺川 (相談役)森重

(事務局員)山本・福島・久米野

書記：濱崎・米村(熊本機能病院)

## 1. 報告事項

### 1) 特別委員会報告

#### ◇公益法人対策特別委員会

(坂崎)県より公益法人認可の連絡あり。

(会長)平成25年4月1日公益法人移行の方針。

#### ◇情報共有推進化特別委員会

(筒井)協会ホームページに公開講座と県学会のバナーを表している。公益法人化に伴い、9月までに検討内容をまとめる予定。

#### ◇訪問リハ対策特別委員会

(三宮)訪問リハリーダー研修は朝日野総合病院の京極氏を協会推薦とする。

#### ◇渉外活動推進特別委員会

(会長)九州北部豪雨災害に対し、廃用症候群予防のためのパンフレットを、県知事へメールにて紹介。熊本県認知症対策課よりパンフレットを各地域の振興局、広域リハ支援センター、地域包括支援センター等に情報発信された。

#### ◇組織検討特別委員会

(会長)小委員会活動の位置付けを検討した。

### 2) 玉名市健康食育福祉フェア参加協力について

(中止報告)

【県北ブロック】

「火の国ボランティアフェスティバル」開催のため中止。

### 3) 第10回くまもと『PTあ!(ピタ)』っと

健康講座の学校説明会について

【事業部】

学校説明会は中止とし、質問等に対応ができるようにパンフレットを置くこととした。

### 4) 第8回呼吸循環系理学療法セミナーの中止について

【呼吸領域小委員会】

豪雨により中止。秋頃に日程調整後開催予定。

### 5) 医専連代議員の推薦について

【事務局】

代議員(理事候補)：田島理事

代議員：増田理事

予備代議員：佐藤理事

### 6) 日本理学療法士協会協力施設推薦のお願いについて

【坂崎専務理事】

下記施設に協力を依頼、承諾頂いた。

・天野整形外科皮膚科医院・西整形外科医院

・小糸整形外科・野津原内科医院・東整形外科

### 7) 平成24年度事業計画等の修正・変更について

#### ○生涯学習研修会

【変更前】期 日：平成24年9月9日(日)

場 所：熊本保健科学大学

【変更後】期 日：平成24年9月23日(日)

場 所：九州中央リハ学院

#### ○第2回学会評議員会

【変更前】期 日：平成24年9月29日(土)

【変更後】期 日：平成24年9月15日(土)

#### ○第9回呼吸循環系理学療法セミナー

【変更前】講 師：前本英樹

【変更後】講 師：河島英夫

### 8) 九州北部豪雨災害に伴う会員被災状況についての報告

(会長)会員の被災状況の緊急調査を実施。現在のところ床上浸水1件あり。人的被害等があれば見舞い金等を検討する必要あり。日本理学療法士協会への被災状況報告を行う。熊本県並びに阿蘇地区責任者等との調整も必要。

## 2. 協議事項

### 1) 日本理学療法士協会選挙管理運営委員の選出について

【事務局】

(坂崎)奥村選挙管理委員長を推薦する。

(理事)了承。(12名/12名)

2) セミナー参加者への緊急連絡方法としての携帯電話の購入について **【呼吸領域小委員会】**

急遽セミナーを中止にする場合、参加者への緊急連絡先が必要。

(坂崎) 県協会所有の携帯電話が1台あり、担当者の一時的使用で対応可能。

(会長) 今回「PTあ！」際も施設電話への連絡が殺到した。携帯電話1-2台が必要である。また、研修会日程の重複・長期間の携帯電話借用希望等への検討が必要である。

(理事) 了承。(12名/12名)

3) ノートパソコン、felica購入依頼について

**【生涯学習部】**

包括的会員管理システムの導入にあたりカードリーダー・パソコンでの研修会の管理となった。

(大島) フェリカ使うと便利で確実である。高性能PCを4台購入していただきたい。

(会長) 今年2台、来年2台購入の方向で進める。

4) 熊本リハビリテーション研究会での発表について

**【生涯学習部】**

熊本リハビリテーション研究会での発表を「C-6症例発表」として承認いただきたい。

(大島) 教育学術局会議で問題無いと結論。

(理事) 了承(12名/12名)

5) 「C-7士会活動・社会貢献」の単位、ポイントとして認める基準について **【生涯学習部】**

当会主催の研修会に運営・動員として参加した場合、ポイントとして扱っていただきたい。

(会長) 皆が参加できるものでないといけない。

(大島) ボランティア募集の段階でポイントも認める旨の内容を記載して公募する。

(会長) ボランティア募集を公募で行い、ポイントを認める。参加地区が限定されているものは、各地区から事務局に報告し、イベントで単位認定可否の決定は三役で行う。県レベルは今年から、地区レベルは来年度から認定する。

6) 第2回JIMTEF災害医療研修会参加者の推薦依頼について(九州ブロック会より) **【事務局】**

第2回JIMTEF災害医療研修会へ参加者を九州ブロック会から1名推薦依頼あり。

(会長) 被災地対応経験者に連絡をとり、意思確認のうえ、同意が得られれば推薦する。＜要件＞

7) 広報誌「かくどけい」投稿規程、ホームページ投稿規程について **【規約審議委員会】**

①情報誌としての性格と対象の明確化について

②投稿者の資格の範囲の明確化

③記事内容の指標の明確化

(会長) かくどけいとホームページの利用方法を見直す時期。次回理事会で再度検討する。

8) 広報誌「かくどけい」のリニューアルについて

**(第4回理事会継続審議)**

**【佐藤理事】**

(会長) 次回理事会にて報告する。

9) 平成25年度の訪問リハ対策特別委員会の方向性について(第5回理事会継続審議)

**【訪問リハ対策特別委員会】**

平成25年度の本委員会の位置付け等について、

①本委員会は計画通り本年度で解散

②「起業支援チーム」の活動は流動性があるため、別の特別委員会を立ち上げ時限的に活動

③「専門性チーム」は次年度の事業計画策定に向け、所属部を明確にする。「福祉部」が候補かもしくは「小委員会」的位置付けとしている。

(坂崎) 委員会を残して活動内容を絞っては。

(大島) 解散が決定しているので無理。

(光本) 次年度の起業支援チームの活動は訪問リハステーションの支援となっている。

(増田) 特別区での企業支援の提案をする。

(会長) 次年度は専門性チームを福祉部に組み込む方法がひとつの方法である。

(大島) 事業計画案策定に間に合わせたい。

(佐藤) 専門性チームの事業内容は？

(三宮) 訪問時の事例集を作成。更なる貢献を踏まえ活動内容を検討中。

(大島) 起業支援チームは起業にかかわる具体的検討を行っている。次年度は特別委員会という形で、次次年度からどこかの部に組み込んで活動を継続するというかたちが良い。

(会長) 基本的には特別委員会は廃止したい。現状としては福祉部に2つのチームとして組み込むのがよい。

(大島) これまでの意見を参考に特別委員会で再度検討する。

### 3. その他

・理事会について

(会長) 第8回理事会を10/10開催と変更する。

・第1回新人研修会について

(大島)次年度第1回新人研修会の計画を厚生部主体で考えていただきたい。

(光本)今後は厚生部単独にて計画実施する方向で考えている。

(会長)厚生部は単独で事業展開し計画立案できるように指導をお願いする。

以上、閉会

## 平成24年度第7回理事会議事録(要約版)

日時：平成24年9月5日(水)19:05~21:21

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：

(理事)北里・大島・坂崎・大脇・三宮・佐藤・田島・筒井・野間・増田・光本

(監事)寺川・中島

(事務職員)石黒・前田

欠席者：

(理事)前田・飯星・川上・野津原

(相談役)森重

(事務局員)山本・福島・久米野・坂本・山内

書記：金子・山下(菊南病院)

### 1. 報告事項

#### 1) 特別委員会報告

##### ◇公益法人対策特別委員会

県庁との連絡調整。平成25年の4月1日からの法人移行に向け書類等準備中。

##### ◇情報共有推進化特別委員会

特になし

##### ◇訪問リハ対策特別委員会

研修が今年度残りあと一回。来年度に関しては研修協議会と検討が必要。医専連のシンポジウムも順調に準備が進んでいる。全国協会から依頼があった訪問リハのリーダー研修は朝日野病院の京極氏が参加予定。

##### ◇渉外活動推進特別委員会

九州北部大水害の仮設住宅の件は熊本県認知症対策・地域ケア推進課にメールで協力できるところは協力したいと連絡済。熊本城マラソンについては市役所に連絡確認する。

##### ◇組織検討特別委員会

8月は検討委員会開催せず。

#### 2) 第2回JIMTEF災害医療研修コースにおける推薦者について

【事務局】

第2回JIMTEF災害医療研修コースにおける推薦

者を検討し林寿恵氏(阿蘇温泉病院)を九州ブロックに推薦。研修参加が決定した旨、九州ブロック事務局より連絡あり。

#### 3) 第6回熊本県医療・保健・福祉連携学会

##### 第1回企画委員会報告

【野間理事】

第6回熊本県医療・保健・福祉連携学会は、平成25年3月2日(土)午後1時~7時まで鶴屋ホール、パレアで開催の予定。メインテーマ：くまもとの医療・保健・福祉のネットワーク(仮案)

#### 4) 平成24年度「熊日・スミセイさわやか介護セミナー」について

【光本理事】

期日：12/1(土)または12/9(日)

※熊日とスミセイで調整中

#### 5) 平成24年度事業計画等の修正・変更について

##### ○生涯学習研修会

【変更前】期日：平成24年11月

テーマ：「生活環境支援」

【変更後】期日：平成24年9月23日(日)

テーマ：「生活に密着した高齢者支援

~医療・介護関連職種に求められる能力~」

##### ○福祉研修会

【変更前】期日：平成24年9月7日(金)

場所：くまもと県民交流館パレア

【変更後】期日：平成24年9月8日(土)

場所：九州中央リハビリテーション学院

##### ○介護教室

【変更前】期日：平成24年8月26日(日)

講師：坂本友昭氏、浪本正晴

【変更後】期日：平成24年10月28日(日)

講師：山口舞氏(エンゼル保育園 保育士)

副枝恵理子氏

(熊本県発達障害者支援センター協会

わっふる 臨床心理士)

浪本正晴

##### ○介護支援専門員受験対策講座

【変更前】期日：平成24年9月~10月上旬

場所：熊本総合医療リハ学院

【変更後】期日：平成24年9月29日(土)・30日(日)

場所：菊南病院

##### ○糖尿病小委員会研修会

【変更前】期日：調整中 場所：調整中

【変更後】期日：平成25年1月20日(日)

場所：熊本リハビリテーション病院

今年は小委員会メンバーで研修会を開催予定。

### ○第3回吸引セミナー

【変更前】テーマ：調整中 内容：調整中

【変更後】テーマ：「コメディカルのための吸引法  
の実際」

内容：吸引法に関する講義と実技講習

### ○第4回吸引セミナー

【変更前】テーマ：「吸引法の技術習得」

内容：吸引法に関する基礎排痰及び  
吸引の実技実習

【変更後】テーマ：「コメディカルのための吸引法の  
実際」

内容：吸引法に関する講義と実技講習

### ○第9回呼吸循環系理学療法セミナー

【変更前】内容：調整中

【変更後】内容：気道クリアランスに関する  
講義と実技講習

### ○第8回呼吸循環系理学療法セミナー

【変更前】期 日：調整中(※雨天延期)

場 所：熊本中央病院

内 容：調整中

【変更後】期 日：平成24年11月4日(日)

場 所：熊本保健科学大学

内 容：慢性呼吸不全患者に関する

呼吸リハビリテーションの講義と演習

は単位を付与する。ただし健康フェスタについては各ブ  
ロックに単位認定のための手続きを事前に行い申請を行  
うことを前提に単位を付与することとする。

### 4) 広報誌「かくどけい」投稿規程、ホームページ投稿 規程について(第6回理事会継続審議)

【規約審議委員会】

①広報誌「かくどけい」の情報誌としての性格と対象の  
明確化について

②投稿者の資格の範囲の明確化

③広報誌「かくどけい」の情報誌としての記事内容の指  
標の明確化の要点について検討。

「かくどけい」、ホームページともに投稿できるのは会員  
のみ、研修会案内等に関しては営利目的のものは掲載せ  
ず、公的な組織が開催するものに関しては掲載してく  
ことを基準として、規約審議委員会からの改定案を採用す  
る。

### 5) 広報誌「かくどけい」のリニューアルについて

(第4回理事会継続審議)

【佐藤理事】

一般向けの情報誌として26年度に向けてリニューアルす  
る。現在、広報部で検討中。

### 6) 平成25年度の訪問リハ対策特別委員会の方向性につ いて(第5回理事会継続審議)

【訪問リハ対策特別委員会】

平成24年度、訪問リハ対策特別委員会は期限を1年間期間  
延長した。平成26年度の組織改変に向けての平成25年度  
の位置付け等について、福祉部を一時的に少し大きくし  
、その中に訪問リハ対策特別委員会の事業で継続してい  
くものを入れる。福祉部と特別委員会で検討し、福祉部  
の中で班分けを行うことで1年間対応してゆく。

## 3. その他

一般の方からのクレーム電話あり。某理学療法士への  
不信感から訴訟を考えているとのこと。訴訟に関しては  
今後増えてくる可能性が考えられる。協会としては、会  
員の立場を守るようにしていかなければならない。大切  
なのは、訴訟が起きないように、患者様との信頼関係を  
築けるセラピストを教育していくこと。このようなこと  
が起こりうることを各個人が自覚する必要がある。また  
理学療法士個人が訴えられた場合を考えると理学療法士  
の賠償保険にもしっかりと加入する必要がある。

以上、閉会

## 2. 協議事項

### 1) 特定保健指導における保健師への指導について

【増田理事】

保健指導の強化により保健師の指導内容も充実を求  
められており、「運動療法」「予防法(姿勢や運動、体操な  
どなど)」を教えて欲しいとの要望あり。保健師を指導す  
るのか、直接対象者に指導するのか。理学療法士が参入  
する可能性もあるので、対応に関しては今後も検討が必要。  
(継続審議)

### 2) 新人懇親会についての企画案とその予算について

【厚生部】

初回の新人研修会は入会のための動機付けをもっと  
積極的に行うべきであり、その上で懇親会がある。初回  
の研修会と懇親会のあり方を三役で検討し、次回理事会  
であげることとする。

### 3) 「C-7士会活動・社会貢献」「研修会・講習会の動員者」 の単位、ポイント認定について

【生涯学習部】

『PTあ!(ピタ)』つと健康講座と県学会及び健康フェスタ

# 各部・委員会報告

生涯学習部

部長 南野 大佑

## ・新人教育プログラムの資料について

新人教育プログラムの資料がマイページ上で印刷できるようになりました。

新人教育プログラム研修会に参加の際は自分で印刷してご持参するようお願いします。

## ・新人教育プログラムの履修履歴修正について

新人教育プログラムの履修履歴修正については、熊本県理学療法士協会のホームページ上の新着情報「重要!!新人教育プログラムの履修履歴修正と専門認定理学療法士制度について」の資料を添付しております。

領収書や生涯学習手帳の複写とともに所定の書類に記載し、日本理学療法士協会まで送付するようになっています。マイページをご確認の上、履修状況に間違いがある方は早急に対応するようお願い致します。

## ・認定理学療法士試験について

平成24年度認定理学療法士の試験の受付が開始となりました。

**必要書類を全国協会へ提出とマイページからの試験申込みが必要になります。**

### 【必要書類・提出書類】

- ① 各専門領域別の申請書類1号～3号
- ② 新人教育プログラムの修了証のコピー
- ③ 指定研修参加証（領収書等）のコピー
- ④ 必須研修会修了証（領収書等）のコピー
- ⑤ その他のポイント（100ポイント）を証明する書類（領収書等）のコピー
- ⑥ 症例報告10例

\*①、⑥は日本理学療法士協会のホームページよりダウンロードできます。

\*②、③、④、⑤のコピーがない場合は、マイページに記載されている画面をコピーして代用しても可能です。

申請登録期間は平成24年11月1日～11月31日です。

## ■必要書類の提出方法

- ・①～⑥の順番で並べます。
- ・⑤についてはA4版に統一。冊子の場合でもA4版にコピーして下さい。
- ・⑤について論文と読み替える場合は、論文のコピーおよび修士号のコピーも必要です。
- ・⑥については手書きまたはパソコン打ちでの可能です。

これらの必要書類2部を日本理学療法士協会まで送付する形になっています。

### 【マイページからの試験申込み】

認定試験の申込みについてもマイページから行えます。登録期間は平成24年11月1日～11月30日です。方法についてはマイページ内の「研修会管理」⇒「受験申込登録」⇒「検索」⇒セミナーIDで検索し受験する会場を入力します。

※今年度、認定理学療法士の試験を受けられる方は全国協会ホームページ上の新着情報「専門・認定理学療法士制度」に詳細が記載されていますので、必ずそちらの方をご覧ください。

・研修会を受講する際は必ず会員カードをご持参下さい

今年度からシステムの一元管理により単位認定する際は会員番号等の情報が必要になります。

※今後、研修会を受ける際は必ず会員カードをご持参下さい。



## ・お問い合わせに関して

ご質問は随時受け付けておりますが、出来るだけメールにてお願い致します。

メールアドレスは… [kpta.lld@gmail.com](mailto:kpta.lld@gmail.com)

緊急の場合は…

部長:南野大佑(所属:熊本セントラル病院)

096-293-0538



## 学 術 部

部長 今屋 将美

心地よい秋の季節も一瞬で過ぎ去ったように感じるほど昨今はすっかり冷え込んでまいりました。体調を崩しやすい時期でありますので、会員皆様におかれましても健康管理には十分ご注意ください。

さて、学術部の事業も今年度残り 1 回となりました（今号が発行される時期には終了しています）。今年度も会員皆様の積極的な参加をいただき、充実した研修会を運営することが出来ました。次年度も皆様の興味、関心をそそるような企画を考えております。事業内容が固まり次第、総会資料および県協会 HP などへ告知してまいります。今後とも皆様のご協力を宜しくお願い致します。それでは、残りの事業予定をご紹介します。

### 《事業予定》

#### 『第 3 回学術研修会』

テーマ：「関節機能解剖と肩関節障害」

講 師：林 典雄 先生（中部学院大学

リハビリテーション学部 理学療法学科）

日 時：平成 24 年 11 月 24 日（土）～25 日（日）

会 場：九州中央リハビリテーション学院

（運動療法室）

対 象：理学療法士、作業療法士、その他医療専門職

定 員：40 名（定員に達しています）

※次号、終了報告を致します。

## 福 祉 部

部員 浪本 正晴

10 月 28 日（日）に熊本市にて行われました平成 24 年度教育関係者向け福祉部研修会について、ご報告させていただきます。

参加者は、30 名で、職種は教諭、保育士、PT でした。昨年の開催と比べ保育士の先生方に多く参加して下さいました。内容は午前中に私が“乳幼児の発達特性と支援について”講義を行い、午後からはエンゼル保育園の児童支援施設の保育士山口舞先生に“自閉傾向にある子ども達の事例紹介”をしていただき、さらに県の発達障害児支援センター”わっふ

る”の認定心理士副枝先生に事例の補足説明をしていただきました。参加した皆さんは熱心に講義を聞いておられました。また様々な質問がだされ日頃悩みながら子ども達と接していらっしゃる様子が伝わってきました。

研修会後のアンケートでは、この研修会の必要性や医療と教育機関の連携について多くの賛同の声を頂きました。この研修会は基本的に医療と他職種との連携の必要性を一緒に考えてもらうことが主な目的です。そういった意味では、我々と同じような認識が他職種の皆さんも持たれていることがわかってきました。

したがいまして、今後はその連携どのようにして具体化し、現実化していくか考えて行かねばならないと思っています。来年以降もこの研修会を開催し有効に活用していく予定です。

## 宣 伝 部

部長 草野 隆夫

平成 24 年 9 月 26 日（水）19：00～ 部長会議参加

場 所：熊本総合医療リハビリテーション学院

参加者：草野

ユニホームの貸し出し

平成 24 年 9 月 2 日（日） 学術部の活動にて

平成 24 年 10 月 11 日（木）18：00～ 宣伝部会議

場 所：水前寺とうや病院

参 加 者：草野、西橋、井あ、工藤、池上、志賀、武藤、島村、坂梨

会議内容：平成 24 年度熊本市健康フェスティバル

動員の活動内容の確認

準備と片付けの動き方

平成 24 年 10 月 13 日（土）・14 日（日） 18：00～

平成 24 年度熊本市健康フェスティバルの啓発活動

場 所：くまもとパレア

参 加 者：10/13 AM 西橋、井あ PM 池上、武藤  
10/14 AM 工藤、坂梨 PM 志賀、島村

活動内容：協会パンフレットの配布

協会や理学療法の説明

体力測定コーナーのフォロー

ユニホームの貸し出し

平成 24 年 10 月 13 日（土）・14 日（日）

平成 24 年度熊本市健康フェスティバルにて

平成 24 年度の事業として熊本県下における理学療法士の認知度調査を実施致しました。  
下記に結果を報告させていただきます。

熊本県理学療法士協会会員向けのアンケート調査

アンケート送付にて調査実施

準備および調査期間：平成 24 年 4 月～10 月

配布数：200 枚

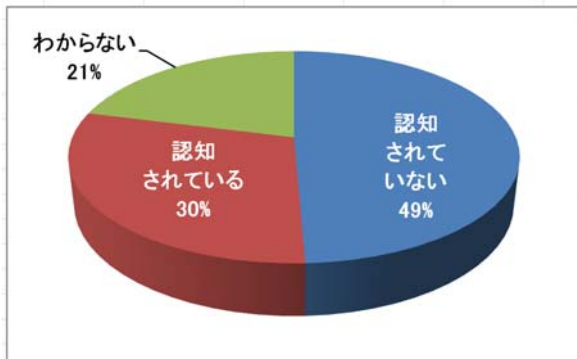
回収率：77% (154 枚)

対象：会員が在籍する施設に対して配布  
(ランダムに 200 施設選択)

※下記設問のカッコ内に回答数を記載

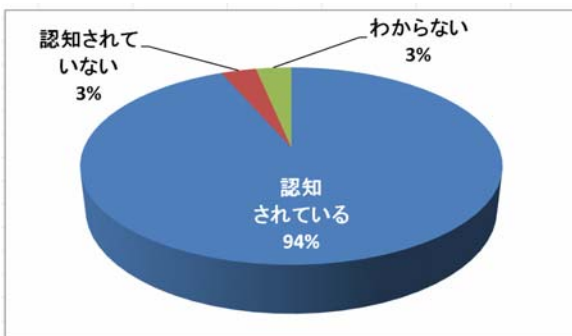
1. 一般社会(医療・介護分野以外)で理学療法士という名称は認知されていると思いますか？

1. 認知されている (45)    2. 認知されていない (75)  
3. わからない (32)



2. 一般社会 (医療・介護分野以外) でリハビリテーションという名称は認知されていると思いますか？

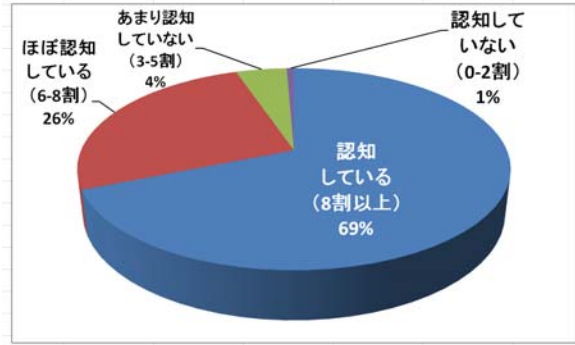
1. 認知されている (144)    2. 認知されていない (5)  
3. わからない (5)



3. 貴施設のスタッフ (リハビリ関係職種以外) は理学療法士という名称を認知されていますか？

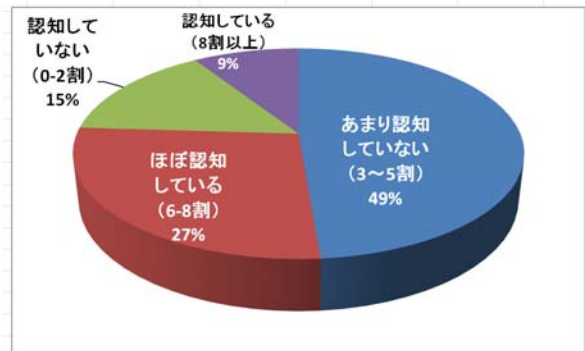
(主観的なご回答でかまいません)

1. 認知している (およそ 8 割以上) (106)  
2. ほぼ認知している (およそ 6～8 割) (40)  
3. あまり認知していない (およそ 3～5 割) (7)  
4. 認知していない (およそ 0～2 割) (1)



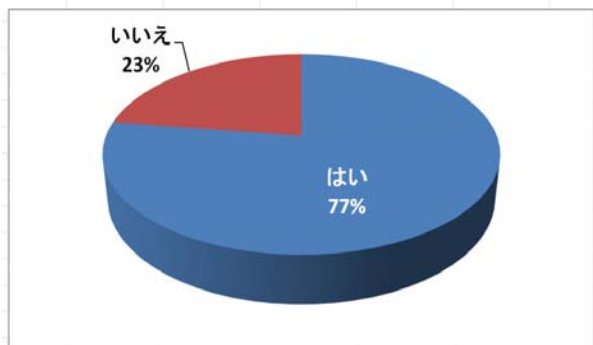
4. 貴施設の患者・ご利用者様は理学療法士という名称を認知されていますか？

1. 認知している (およそ 8 割以上) (14)  
2. ほぼ認知している (およそ 6～8 割) (42)  
3. あまり認知していない (およそ 3～5 割) (75)  
4. 認知していない (およそ 0～2 割) (23)



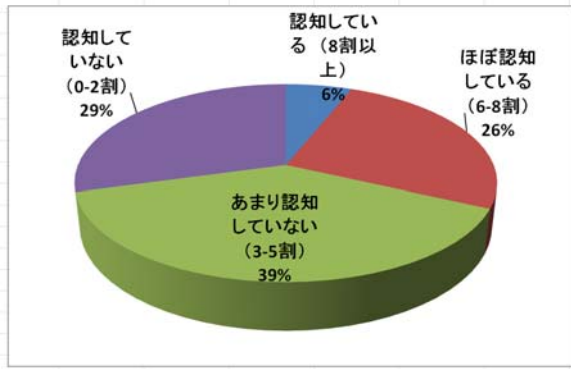
5-1. 貴施設では理学療法士以外のリハビリ専門職種が勤務されていますか？

1. はい (119)    2. いいえ (35)

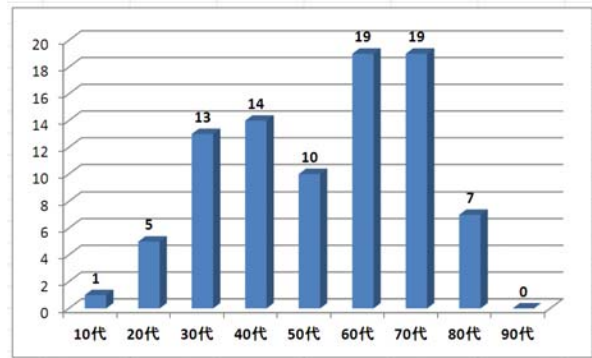


5-2.5-1 で「1.はい」と回答された方にお尋ねします。貴施設の患者・ご利用者様は理学療法士が提供するリハビリテーションサービスと他職種が提供するリハビリテーションサービスの相違を認知されていると思いますか？

1. 認知している (およそ 8 割以上) (7)  
2. ほぼ認知している (およそ 6～8 割) (30)  
3. あまり認知していない (およそ 3～5 割) (45)  
4. 認知していない (およそ 0～2 割) (34)



2.年齢層をお答えください



一般および他医療・福祉職種向けのアンケート調査

調査期間：平成 24 年 10 月 13・14 日

場所：熊本パレア

方法：熊本市健康フェスティバルでのアンケート調査

配布数：100 枚

回収率：89% (89 枚)

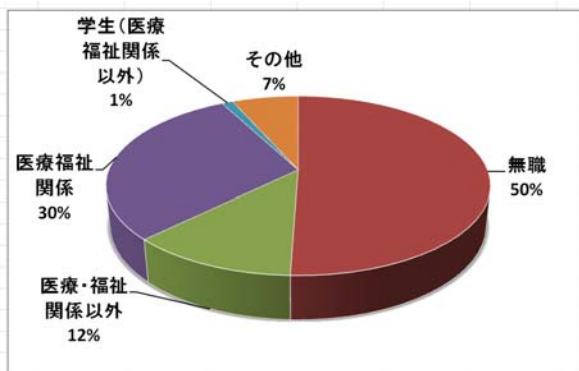
対象：一般および他医療・福祉職者

※下記設問のカッコ内に回答数を記載

1-1.職種をお答えください

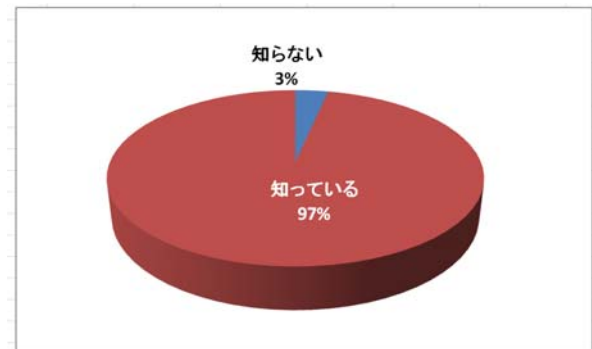
無職 (46) 医療・福祉関係以外 (11)

医療・福祉関係 (27) 学生 (1) その他 (6)



3-1.「リハビリテーション」という言葉をご存知ですか？

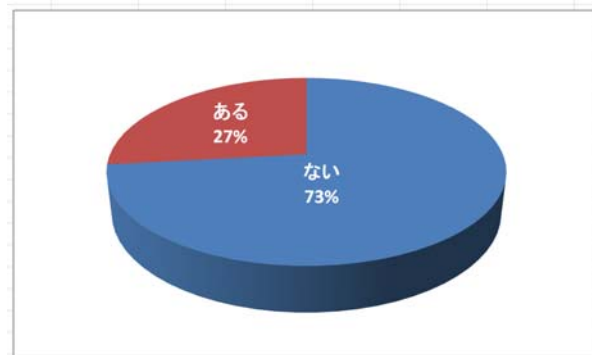
知らない (3) 知っている(86)



3-2.「知っている」と回答された方へお尋ねします

リハビリテーションサービスを実際に受けられたことがありますか？

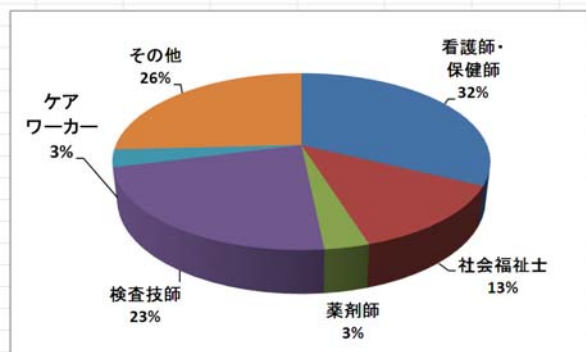
ない (63) ある (23)



1-2.医療・福祉関係と回答された方にお尋ねします職種を教えてください。

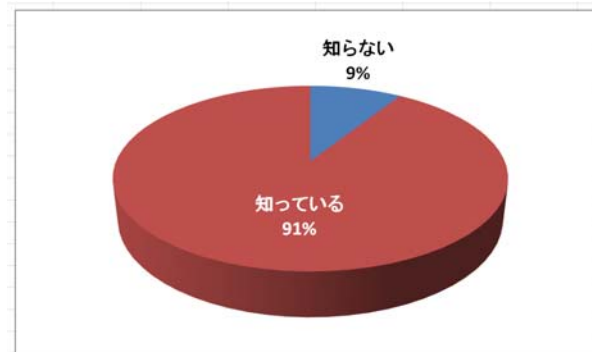
看護師保健師 (10) 社会福祉士 (4) 薬剤師 (1)

検査技師 (7) ケアワーカー (1) その他 (8)



4-1.「理学療法士」という職種をご存知ですか？

知らない (8) 知っている (81)



表彰審査委員会では、各種団体・自治体等外部よりの表彰推薦依頼や日本理学療法士協会・熊本県理学療法士協会会員の各種表彰のための推薦根拠となる、資料の作成・管理をおこなっております。

ご案内が大変遅くなりましたが、平成24年度新規入会の会員さまを対象とした「表彰に関するデータ入力」を実施致します。

平成23年度より、熊本県理学療法士協会のホームページより、「本人が直接入力」していただくことになりました。したがって、熊本県理学療法士協会のホームページにて「ログイン申請」の手続き終了された後、**ログイン** ⇒ **会員MYメニュー** ⇒ **表彰管理** ⇒ **各種フォームへ入力** をお願い致します。

入力に際しましては、入力項目および入力時の注意点を参考にご入力お願い致します。

**\*昨年度、各施設に1部入力方法の資料を配布しておりますので、ご参照下さい。**

<入力項目および入力時の注意点>

1: 本籍の項目

⇒『本籍』をドロップダウンの項目より選択して下さい。

2: 休会の項目

⇒『休会経験の有無』にチェックを入れて下さい。

⇒休会経験:『有』の方のみ、休会期間を入力して下さい。

3: 学歴および職歴の項目

『学歴』

⇒○年○月および高等学校卒業より以降について入力下さい。

『職歴』

⇒職歴のある方は、入力下さい。

4: 学術事業に関する業績の項目

『学会業績の有無』にチェックを入れて下さい

⇒『各種学会回数』の欄には、「主演者」の回数を入力して下さい。

⇒『学会その他』の欄には、座長・シンポジスト・コメンテーター等の経験について具体的に入力して下さい。

『講習会等講師の経験の有無』にチェックを入れて下さい。

⇒講習会講師等の回数ならびに講習会名を入力して下さい。

⇒『論文数』の欄には、筆頭執筆者での回数のみを入力して下さい。

『著者活動の有無』にチェックを入れて下さい。

⇒『著作署名』、『著作出版社』を入力して下さい。

⇒『著作状況』の欄には、単独執筆あるいは共同執筆の別を選択して下さい。

5: 役員等の経歴の項目

『役員経験の有無』にチェックを入れて下さい。

⇒『役員経験《熊本》』の欄には、役員・部員・委員・ブロック長、学会・研修会役員等の経験について入力して下さい。

⇒『役員経験《全国》』の欄には、役員・部員・委員・代議員、学会・研修会役員（全国・九州地区）等の経験について入力して下さい。

6: 所属する学会・研究会等の項目

『所属する学会・研究会等』の有無にチェックを入れて下さい。

⇒『有』の方のみ、入会年度および名称を入力して下さい。

7: 教育に関する経験の項目

『常勤講師および非常勤講師』の有無にチェックを入れて下さい。

⇒『有』の方のみ、「勤務先」・「講義名」・「経験年数」を入力して下さい。

『臨床実習指導経験』の有無にチェックを入れて下さい。

⇒『有』の方のみ、「経験年数」を入力して下さい。

⇒『臨床実習指導経験』の欄は、実務経験3年以上で、スーパーバイザーの経験をお持ちの方のみ入力して下さい。サブバイザー、ケースバイザーは該当しません。

8: 『その他』の項目

『免許・資格』の有無にチェックを入れて下さい。

⇒『有』の方のみ、「取得年度」、「免許・資格の内容」・を入力して下さい。

⇒学位等も内容の欄に入力して下さい。

『賞罰』の有無にチェックを入れて下さい。

⇒『有』の方のみ、「年度」、「賞罰の内容」を入力して下さい。

ただし、施設内のものは除外します。

各自、熊本県理学療法士協会のホームページにより『ログイン』され、平成24年12月31日までに、入力いただきますようお願い致します。

<入力に関する問い合わせ先>

〒869-0532 宇城市松橋町久具691

宇城総合病院 リハビリテーション部

TEL: 0964-32-3111 (内線: 695)

E-mail: [ukisogo-rehashien@reimeiki.jp](mailto:ukisogo-rehashien@reimeiki.jp)

担当: 山下 智弘

## 渉 外 部 部長 坂崎 浩一

### ・熊日スミセイさわやか介護セミナー調整

日時: 12月1日

会場: 熊本日日新聞社 本館2階ホール

内容: 「家庭でできる簡単リハビリ体操」

担当: 光本理事

### ・熊本城マラソン事務局との連絡調整

ボランティア参加の旨連絡

### ・九州ブロック士会長会議に於ける連絡調整

### ・宇城広域連合介護認定審査委員会委員の推薦について

任期期間 平成25年4月1日～平成27年3月31日

推薦: 山下智弘・野田みどり

### ・渉外活動備品購入準備

## 規約審議委員会 委員長 溝田 康司

今回の活動内容について報告させていただきます。

<平成24年9月6日>

平成24年度上半期備品台帳報告書作成

<平成24年9月12日>

広報誌「かくどけい」規定見直しに関する答申書作成

IT 事業部部長へ HP 投稿規定改定案原本及び答申書(案)をメールで送付

広報部長へ広報誌「かくどけい」規定見直しに関する答申書(案)をメールで送付

<平成24年9月24日>

平成24年度上半期報告書作成。事務局へ備品台帳と合わせてメール送付

<平成24年9月26日>

第2回部長会議出席

<平成24年10月2日>

答申書最終見直しと広報部長への確認メール送付

広報部長から最終見直し版答申書の確認の返信受領

<平成24年10月3日>

北里会長へメールにて答申(答申書添付)

広報部長へ会長宛答申を行った旨メールにて報告

<平成24年10月9日>

北里会長より答申受領の回答メール

<平成24年10月24日>

平成25年度事業計画案及び予算案作成。事務局へメール送付。以上。

## 保 険 部 部長 河島 英夫

4月の診療報酬改正より8ヵ月になろうとしていますが、皆様の施設での業務はいかがでしょうか。

おかげさまを持ちまして、今年度に予定しておりました2回の保険診療研修会を、無事に開催することができました。

この度、保険部では、平成24年度版「保険・届け出に関する資料」CD-ROM(内容:診療報酬改正情報、介護保険集団指導、介護情報開示、施設基準届出書式など)を作成いたしました。新規開設や日頃の診療にお役立ていただきましたら幸いです。

また、診療報酬ならびに介護報酬に関する問い合わせは随時受付けております。お手数ではございますが、お問い合わせはメールでお願いいたします。

メールアドレスは

[hokenbu.kumamoto.pt@gmail.com](mailto:hokenbu.kumamoto.pt@gmail.com)

となっております。なにとぞご了承下さいますようお願い申し上げます。

～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．

7月11日～14日にかけて起こった九州北部豪雨では、県内でも阿蘇市を中心に多くの方々が被災されました。心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

教育部 部員一同

～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．

いつもお世話になっております。教育部の前田です。そろそろ冬本番といったところでしょうか？鍋の美味しい季節ですね♪

さて、教育部では、技術系の研修会とは一線を画した形で、教育研修会を中心とした事業を展開しております。多くの会員の皆様にご参加いただきますようお願いしております。

☆各班の活動です

◎卒後教育班：各ブロック・地区での卒後教育研修会（初級編・中級編）は、皆様のご協力の下、予定していた研修会も残り少なくなってきました。卒後教育班では、各ブロック・地区の皆様に、よりスムーズに研修会を開催・受講していただけるよう、開催担当の皆様と連絡を取り合っております。ご意見・ご要望がありましたら、今後の参考にいたしますので、ぜひ協会ホームページのお問い合わせフォーム、もしくは教育部長のE-Mailアドレスへご意見をお寄せ下さい。

皆様ご存知の通り、今年度から公益社団法人日本理学療法士協会生涯学習システムが変更になりました。それに伴い、教育部では生涯学習部と協議をしながら卒後教育研修会等のシステムを検討しております。皆様には様々な面でご不便をお掛けしますが、ご理解のほどよろしくお願い致します。

◎臨床実習教育班：通算7回目の研修会の日程が決定しました。2月3日(日)に開催します。例年通り、星城大学の大川裕行教授をお招きし、臨床実習教育の基礎研修会と「熊本県版スーパーバイザーの手引き」の読み合わせ会及び意見交換会を開催する予定です。こちらはこれからSVになる方や、SVの経験が浅く指導に悩んでいらっしゃる方は必聴です。これを機会に是非ご参加下さい。

さて！「熊本県版スーパーバイザーの手引き」はもうお読みいただきましたか？各施設1部の配布ですが、PDFにて熊本県理学療法士協会ホームページ(<http://www.kumamoto-pt.org/>)よりダウンロードできますのでぜひご一読いただき、臨床実習教育の参考にしていただければと思っております。ご意見もどしどしお寄せ下さい。皆様の力でこの手引きを育てていきましょう。

◎管理・運営教育班：管理者教育カリキュラム（第1ステージ）第3クールが10月18日(木)～19日(金)に行なわれ、残すところ最終クールのみとなりました。熊本大学医学部附属病院医療の実管理センターの菊池 健先生より「マネジメントⅠ・Ⅱ」について、熊本大学の吉田道雄先生から「グループ・ダイナミックス」についてGWやディスカッションを交えてみっちりご講義いただきました。参加された皆様もとても真剣に受講されていました。12月の第4(最終)クールではQCサークル九州支部の西田良生先生から「問題解決(QC手法)」についてご講義いただきます。最後まで良い学びが提供できるように班員一同頑張っております。また、第2ステージについても検討中です。皆様からも、ぜひ受講したいという項目等ございましたら、どしどしご意見下さい。

☆教育部のビジョンは...

- 現状における臨床実習教育の課題を抽出し、標準的指導指針を模索する。そのテキストとして、日本理学療法士協会発行の臨床実習の手引き（第5版）を用い、養成校、臨床実習施設の共通目標を確認する。
- 理学療法士としての専門的知識や技術の重要性もさることながら、卒前教育の限界と卒後教育での課題と思われる基礎的な項目の習得の一助となる教育システムの構築を行う。
- 上記内容を把握し、人材（財）育成、組織的管理のできる管理者を育成し、理学療法士の職域拡大や就労後の教育レベルの向上を図る。

教育部に対するご意見・ご要望等ございましたら、私（前田） [rptmaeda@yahoo.co.jp](mailto:rptmaeda@yahoo.co.jp)までご連絡下さい。

事業予定についてお知らせいたします。

## 開催報告

### 第43回市民公開講座

「ベッドサイド・リハ～廃用予防を中心に～」

平成24年9月9日に熊本総合医療リハビリテーション学院を会場として第43回市公開講座「ベッドサイド・リハ～廃用予防を中心に～」が開催されました。講師に熊本中央病院の上村恭生先生を迎え、介護職、看護師、理学療法士、作業療法士など37名の医療従事者が参加されました。前半は講義が中心であり、後半は実技が中心の内容で行われました。講義は廃用症候群とはどういったものかということから始ま

り、簡単な体操を含めどうすれば予防できるか、100円ショップで手軽に手に入る道具を使用した自助具の紹介などの講義内容でした。実技では1グループ3～4名の9グループに分かれ、各グループに学術事業部員がつき、講義内容の実践や寝返りや起き上がり動作の介助方法、車椅子への移乗動作などを力学的な解説を交え行いました。各グループ積極的に実技に励み、意見交換や質疑応答も多くすぐにでも臨床現場に生かせる内容であった為、受講者にとっても有意義な講義内容であったと思います。



# 学会・研修会のお知らせ

## 糖尿病小委員会研修会開催のお知らせ

- テーマ : 「あなたならどう診・見ますか?～糖尿病患者の理学療法～」  
 開催日 : 平成25年1月20日(日) 9:30～11:20(9:00 受付)  
 会場 : 熊本リハビリテーション病院(本館2階 本館2階地域交流ホール)  
 講師 : 糖尿病小委員会スタッフ  
 定員 : 先着50名  
 参加費 : 1,000円  
 プログラム: 第1部 講義(糖尿病概論、糖尿病の運動療法、糖尿病の教育論)  
 第2部 ケーススタディ(症例を通してのグループディスカッション)  
 ※新人教育プログラム「C-3 内部障害の理学療法」にて単位認定できます。  
 ※糖尿病療養指導士更新単位<第1群>理学療法 0.5単位

参加申し込み(E-mailにて受付)

[reha@seijino.or.jp](mailto:reha@seijino.or.jp)

◎①氏名 ②施設名 ③経験年数 ④所属ブロック(地区) ⑤連絡先記入の上、上記アドレスに  
 参加申し込みをお願いいたします。

締め切り:2012年12月21日(金)厳守

問い合わせ

青磁野リハビリテーション病院 理学療法部門 理学療法士 生田麗香

TEL:096-354-1731 FAX:096-354-1736



## 県南ブロック

## 藤井 崇浩

今年のノーベル医学生理学賞を、山中伸弥・京都大学 iPS 細胞研究所所長が受賞されました。再生医療に新たな道を切り拓くといわれる山中氏の研究は、今後益々注目を浴びることになるでしょう。

聞くところによると、山中氏は研究一筋の道を通って来られたわけではなく、最初は整形外科医として研鑽を積まれていたとのこと。しかし、手術の技量が拙いことを自認され、その後研究の道に進まれたとのことでした。

山中氏の言葉です。「人生には『直線型の人生』と『螺旋型の人生』がある。日本人は、脇道が許されない『直線型の人生』ばかりだと思う。ベンチャーを起こして失敗したら、日本では落伍者の烙印を押されるが、アメリカでは逆に、彼は凄い経験をしたんだと評価されたりする。『螺旋型の人生』とでもいうんでしょうか。」(『致知 2012 年 11 月号』)

今年働き始めた新人の方、あるいは経験年数の少ない方たちの中には、自分の現状に不満を抱いたり、自信をなくされていたりする方がいるかもしれません。でもそれは、「直線型の人生」で考えているからであり、「螺旋型の人生」と考えれば、突破口が見えてくるかもしれません。是非、希望を見出してください。

さて県南ブロックでは、10月29日に介護老人保健施設白梅の里の井上敏行PTの担当で、勉強会を行いました。全国学術研修大会 in 鹿児島島の伝達講習の形式で、高次脳機能障

害について学びました。ブロック外からの参加もあり、新鮮な空気で新たな知見を学ぶことができました。井上 PT、ありがとうございました。12月には外部講師を招いての勉強会を予定しておりますので、次回も多数のご参加をお待ち致しております。

## 県北ブロック

## 菅原 大志

秋本番という感じがしてきた今日この頃ですが、皆様は如何お過ごしでしょうか。田舎暮らしも良いもので、裏山で採れる栗や柿も良い具合です。万年腰痛持ちで、体力作りというか自分のリハビリテーションのために、日頃から運動を心がけていますが、春夏の水泳からウォーキングやジョギング、サイクリングへシフトする時期でもありません。爽やかな気候の中での運動は元気が出ますね。時には職場近くを散策することもあります。先日から改装工事中だった山鹿のメインともいえる温泉「さくら湯」が完成間近なのを見ることが出来ます。11月23日開湯予定とのこと、皆さんがこの記事を読まれている頃には既に完成していると思います。素敵温泉になりそうですので、皆様も是非ご来湯下さい。

さて、ブロック行事のご報告ですが、前回予告しておりました通り、9月9日に卒後教育研修会「リスク管理」「KYT」を同日ダブル開催致しました。場所は保利病院様にお願ひしまして、立派な会議室を貸し出して頂きました。参加者数は19名で、お互いの交流や研鑽には程よい規模での開催となったのではないかと思います。

講師の先生としては、リスク管理では荒尾市民病院の前田英樹先生並びに立石英夫先生、三森循環器科呼吸器科病院の平野順子先生にお願ひしまして、スライドを基に講義形式で進めて頂きました。またKYTでは荒尾中央病院の門川誠也先生並びに濱口伸也先生、及び次年度ご担当として玉名中央病院の保田佳史先生並びに尾川隆先生にファシリテーターをお願ひしまして、グループワーク形式で進めて頂きました。受講生の先生方も討議や発表などしっかりと参加して頂き、実りの多き研修会となったと思います。

講師・ファシリテーターの先生方、受講者の先生方、及び運営にご協力頂きました皆様方に心よりお礼申し上げます。



尚、卒後教育研修会の残り2テーマ「ラポール」及び「全人間的アプローチ」につきましては、12月2日(日)、山鹿中央病院にて開催を予定しています。次号ではこちらの報告をしたいと思いますので、宜しくお願ひ致します。

前回お話ししておりました会員親睦会はなかなか企画が難しく、まだ実施できていません。忘年会や新年会という形ででも実施出来ればと思います。次回以降改めてご報告したいと思ひます。

## 天草ブロック

## 水田 順司

天草ブロックからの活動報告です。9月14日に第4回の定例勉強会を開催し、「股関節可動域制限に対する検査とアプローチ～軟部組織編～」と題しまして園田先生に講師をお願いし、講義と実技を行っていただきました。内容は可動域の制限因子について皮膚、筋、腱、靭帯、毛細血管、関節包の病態の説明から実技では実際に皮膚、筋、筋膜に対するアプローチについて講義をしていただきました。23名の先生方に参加をしていただき、パートナーの評価をしながら実践していただきました。



10月12日には26名の先生に参加いただき第5回の定例勉強会を行いました。「股関節機能改善のための筋機能へのアプローチ」と題しまして立川先生に講師をお願いし、講義と実技を行っていただきました。内容は股関節の運動パターンの評価から筋の過緊張・弱化を評価し、それぞれに対するアプローチについて講義と実技を行っていただきました。今回で今年度の股関節シリーズが終了となり3月には3年目の先生方に「ケーススタディ

～関節可動域制限について～」と題し発表していただきます。3年目の先生方には今年度のテーマにて勉強した内容を含め発表をよろしくお願ひいたします。



11月30日には天草初のPT・OT・STでの合同勉強会を天草第一病院リハビリ棟にて開催いたします。演題数も6題集まり、着々と準備も進んでおります。平日の勤務後になります。是非多くの方にご参加いただき、天草のリハビリテーション関係職種のよい情報交換の場になればと思ひます。

## 八代ブロック

## 塚島 靖博

11月になると朝晩がぐっと寒くなりますね。10月からメタボ対策の為、片道30分の徒歩通勤に変えました。そろそろ手袋マフラーも用意しなければ・・・

さて、八代ブロックの活動としては、県南ブロックと共同開催で、9月23日に卒後研修会ラポール形成とリスク管理を八代総合病院で開催しました。どちらも24名の参加で、昨年よりより活発な意見が出ていました。また、中級編 全人間的アプローチと危険予知トレーニングを、11月25日に八代総合病院で開催予定です。

九州厚生局の指導は、外来リハ診療料のシステムの確認、リハビリテーション総合実施計画書が電子カルテ上にスキャンされているか、呼吸器疾患リハで算定の開腹術後のリハ内容が適切かどうかサマリーも確認されました。まだ、文書としては来ていませんが、当日は予定より1時間以上延長しての指導でした。

# 第17回熊本県理学療法士学会のお知らせ

## 学会長挨拶

The president's address

学会長 鍋木 誠

紅葉も落ち始め、厳しい寒さを思わせる夜風が吹き始めました。国内の情勢も厳しい寒さの到来を思わせる事象が見られるように思います。理学療法士を取り巻く世界はどうでしょうか？今の状況が本当に国民のために十分な理学療法が発揮でき、提供できる環境と言えるのでしょうか？

第17回熊本県理学療法士学会では、公益性を焦点に『理学療法士が進むべき未来像』というテーマで実施いたします。我々、理学療法士は、公益事業を行うための社会のニーズはどれだけ把握できているのでしょうか？今回の学会では、下記コンテンツのようなシンポジウムなどからこれらのことを県民の皆様と一緒に考えていきたいと思っております。また、一般演題やエキスパート演題からなる口述発表、およびポスターによる発表をはじめ、さまざまな企業からの展示や勉強会の紹介ブースと内容も盛りだくさんでお送りいたします。今回応募していただいた演題のような研究から、私たちが国民に対して安心して提供できる技術とは何なのか、そして、何をやらなければならないのかを探っていくためのきっかけになればと思います。

尚、本学会への参加により、国民へ高度で安心した技術を提供できる『専門・認定理学療法士』の履修ポイント取得もできます。

厳しい時期だからこそ、人肌の暖かさや心温まるおいしさを感じられる心を育てることができます。清々しく麗らかな桜の季節を迎えられるよう、私達の未来を私達で考え、私達が変わっていきましょう！

会員のみならず県民の皆様にかかれましても、ぜひ、本学会に足運んでいただきますよう、心よりお待ち申し上げております。



メイン ポスター ver.2 : 野尻 晋一(介護老人保健施設 清雅苑)

## contents

### 一般公開シンポジウム

An open symposium

テーマ:「社会が理学療法士に期待すること」

県内関連団体から数名のシンポジストをお招きし、理学療法士に期待することについて提言して頂きます。これを受けて我々理学療法士はどのような行動を起こしたら良いのでしょうか？その手がかりを探っていきます。

### 協会会員シンポジウム

Symposium for members

テーマ:「理学療法士が進むべき未来像」

事前に会員の皆様を実施した学会アンケートの情報を基に「臨床」・「研究」・「教育」・「職能」の4つに着目しどのような方向に向かうべきなのかを皆さんと考えたいと思います。

### 分野別小委員会 セミナー 活動報告

Activity report

本協会で専門的な分野で活動している組織の活動内容をご紹介します。会員や一般の皆様にも、本協会の取り組みや理学療法について知っていただくと幸いです。

### 指定演題公開セミナー

Public seminar

テーマ:「学問としての理学療法の未来像」

生活環境支援系・運動器系・神経系の3つの分野について県内で活躍されている理学療法士の方々に演題発表をしていただきます。専門的な臨床・研究の内容を新人の方でもわかりやすく、そして、中堅の方でも興味深く発表していただく予定です。ぜひ、ご期待ください！

Presenter

生活環境支援系理学療法学

大久保 智明 訪問看護ステーション清雅苑

運動器系理学療法学

加藤 浩 九州看護福祉大学

神経系理学療法学

勝田 有季子 熊本託麻台病院

### 展示

An exhibition area

県内外からさまざまな企業・勉強会・研修会などに出展していただきます。実際に見て、触って、体験してみてください。

<展示内容>

福祉用具・機器、義肢・装具、活動内容紹介、小物販売 他

# 事務局だより

〒861-8045 熊本市東区小山2丁目25-35  
熊本総合医療リハビリテーション学院内  
TEL/FAX 096-389-6463  
Eメールアドレス kpta\_kat@mtg.biglobe.ne.jp  
ホームページ http://www.kumamoto-pt.org/

## 会長行動録

- 9/5 熊本市介護認定審査会：熊本市健康センター新町分室
- 9/8 福祉部研修会：九州中央リハビリテーション学院
- 9/19 熊本市介護認定審査会：熊本市健康センター新町分室
- 9/21 熊本県地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会  
：くまもと県民交流館パリア
- 9/24 組織検討特別委員会  
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 9/25 九州理学療法士・作業療法士合同学会実行委員会  
：九州中央リハビリテーション学院
- 9/26 第2回部長会議：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 10/3 熊本市介護認定審査会  
：熊本市健康センター新町分室
- 10/4 全国都道府県士会会長会議：鹿児島市民文化ホール
- 10/10 第8回理事会：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 10/17 熊本市介護認定審査会：熊本市健康センター新町分室
- 10/21 理学療法士講習会(基礎編)挨拶：熊本中央病院
- 10/22 訪問リハビリ研修協議会会議：清雅苑
- 10/29 組織検討特別委員会  
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 10/30 九州理学療法士・作業療法士合同学会実行委員会  
：九州中央リハビリテーション学院
- 11/2 上半期事業監査：協会事務所

## 会員数 (H24. 10. 31 現在)

賛助会員 10 社 休会会員 159 名

ブロック名	施設数 〔 ( )内の自宅会員数を 含んでいます。〕	会員数
熊本市	268 (65)	1295
県北	67 (12)	208
八代	72 (10)	248
天草	42 (4)	90
県南	17 (1)	40
合計	466 (92)	1881

## 掲示板

- 異動・休会・復会・退会等の手続きについて  
次のいずれかにより手続きください。

- ① Web 申請：  
日本理学療法士協会ホームページよりご登録ください。
- ② 書類による申請：  
届出用紙を熊本県理学療法士協会事務局へ郵送ください。

また、県外異動・入会・休会・復会・退会に関し熊本県理学療法士協会書式による書類の提出が必要です。各種届出書式に関しては、熊本県理学療法士協会会員名簿をご参照下さい。尚、書式は当協会ホームページよりダウンロード可能です。ご活用下さい。ご不明な点は事務局までご連絡下さい。

※休会は1年ごとの更新になっております。

現在休会中の方は今年度末で休会期間が終了いたします。休会継続、復会、退会のいずれかのお手続きを2月末までにお願いいたします。

- 会費納入について

今年度の会費が未納の方は速やかな会費納入にご協力お願い申し上げます。また、昨年度の会費が未納の方も早急に納入くださいますようお願い申し上げます。なお、未納の方へは日本理学療法士協会よりコンビニ・郵便局用の払込票が送付されております。払込票記載の期日までに納入下さい。

- 会費納入用楽天カードのお申込のお願い

会費納入用クレジットカードとして「楽天カード」（年会費無料）へのお申込をお願いします。楽天カードへのお申込は日本理学療法士協会ホームページの会員専用ページからお手続き下さい。



# 大 観 望

『継続は力(ちから)なり』

教育部部長

(医) 相生会 にしくもと病院

前田 英児

秋も終わり、冬本番といったところですね。クリスマスイルミネーションが華やかに街を飾っています。いくつになってもこの時期はなんだかワクワクしますね。

ところで、当教育部も発足から5年目を迎え、多くの事業が定着しつつあります。思えば、平成19年に発足した教育推進事業特別委員会にお誘い頂き、経験の差も関係なく熊本県における理学療法士教育について熱く意見交換を行い、平成20年度から教育部として臨床実習教育、卒後教育、管理・運営教育を3本柱に、理学療法士教育に取り組んでまいりました。部長を拝命し、皆様の何かお役に立てたらと思ひ、様々な困難もありましたが、担当理事を初め、杉野哲裕卒後教育班長、大橋妙子臨床実習教育班長、他部員、班員の仲間にも支えられて今日まで頑張ってきました。

この5年で私自身多くの学びをいただきました。その中で最も大きく、私の今の原動力になっている学びは、月並みですが「継続は力(ちから)なり」です。全てに通ずると思います。そしてつらい時、心が折れそうな時に、自分にこう問いかけるようにしています。

「限界は誰が決める?」「失敗って何?」と…

限界は自分があきらめたところであり、失敗は途中でやめた時に生じるもので、成功するまで自分を鼓舞して継続すれば失敗も挫折もプロセスにしかありません。こうして考えると、とてもポジティブな気持ちになりました。

10月28日(土)に小国町長として有名な河津寅雄氏のドキュメンタリードラマを見ました。その中で、寅雄氏の父友喜が「歩みを止めるな。どんな事があっても歩みを止めなければ必ず進む」と若き日の寅雄に諭すシーンがありました。まさにその通りだと思います。

私達は仕事柄、患者さんを通して臨床で、また学生さんを通じて教育現場で多くの挫折や失敗を味わいます。時には意に反してあきらめざるを得ない事もあります。でも、折れない心で継続していけば、多くの達成・成功を得る事も出来ます。

取り留めのないことを書きましたが、日々困難に立ち

向かっているわ私達だからこそこの言葉をシェアさせていただきます。

今後とも教育部の活動にご理解とご協力を頂きますよう、よろしくお願い致します。

お読み頂き、ありがとうございました。

『理学療法士の認知度は!?』

総務部部長

介護老人保健施設ケアビレッジ箱根崎

山本 博子

介護現場に身を置いて1年が過ぎました。先般、調査資料部による理学療法士の認知度に関するアンケートがありましたが、皆さんはどのように感じているのでしょうか。「リハビリ」という言葉は、私がこの職業を選んだころに比べると随分メジャーになってきたと感じています。「理学療法士」という言葉も以前に比べれば、理学療法士→リハビリと結びついてきているのではないかと感じています。でも、仕事が理解されているかという点はまだまだのような気がします。特に医療現場におけるリハビリに比べ介護現場におけるリハビリ・理学療法に対する理解度は低いと感じています。介護職やケアマネなど同じ介護現場で働いている人たちでさえ、十分に理解されていないと日々携わっていくなかで感じています。回復期から維持期への移行が悪く、せっかく回復したADL能力が低下してしまうことも多く問題になっています。このことは、やはり維持期におけるリハビリの重要性が十分に理解されていないことに起因しているのではないのでしょうか。医療・福祉分野における連続した継ぎ目のないケアが提供されるためにも、維持期リハビリテーションにおける理学療法士の役割や必要性について知ってもらう必要があると考えています。そのためには、現場にいるセラピスト一人ひとりが、役割や必要性を伝えていく事が重要だと考えます。どのような目的で理学療法を行っていくのか、それを行うことでどうなるのかなどを、ご本人・ご家族にはもちろんのこと、そこに関わっている人たちにも十分説明していくことが重要ではないのでしょうか。そして、自分が行った理学療法に責任を持ち、自分が関わったことによる効果をきちんと伝えていくことが必要だと考えています。

# 士会 便り 兵庫

## 『今と昔の新卒理学療法士』

複数の人から、最近新卒理学療法士のレベルが下がったのではないかと、という話を聞いた。確かに、臨床実習の時間が徐々に減らされ、30年近くも前の話で恐縮だが、私が学生だった頃と比べれば、長期実習で1期分(8週間)は少なくなっただけでなく、実習中に担当させられる患者数も、当時少なくとも3~5人は当たり前で、実習地によっては10人以上も担当していたことを思えば、今は私が勤める病院に限った話ではあるが、多くても2人までであり、圧倒的に卒業するまでの経験値が不足していることは否めない。

自分自身臨床実習の指導をしなくなって何年も経つが、昔ながらの指導方法に慣れ親しんだ者にとって、最近の「クリニカルクラークシップ」という考え方が何とも心もとなく感じてしまう。実習の期間を通じて、一人の患者さんを模擬的に担当することによって、知識や技術あるいは接遇といった基本的なスキルだけでなく、最も大事なりハビリテーションマインドが養われるのではないかと感じる。

それはさておき、学生に多くの患者さんを担当させ難くなった理由ははっきりしている。第1に、対象者からあからさまに拒否されるようになったという、社会感覚の変化に基づく理由。第2に、学生が患者さんを担当している間、当然指導者は学生を指導しなければならない。有資格者が指導しているとはいえ、直接診療していない以上、診療報酬を請求することができず、結果として、学生の担当患者数が増えれば増えるほど、病院としての収入は減少するという、経営的な理由。第3に、養成校からも、以前のような卒業即一人前の理学療法士として勤務できる、という到達目標から、一つのテーマをじっくり考えて、問題解決できる能力を養うことを優先され、過剰な課題は消化不良を起こすということで、「学生が困惑するような量の課題は与えないで欲しい。十分な睡眠が取れるよう、遅くまで指導しないで欲しい」と、言外に「学生さんをいじめな！」という雰囲気は漂わされ、実務的なことは卒業後に委ねることが主流になってきたという、教育方針の変化に基づく理由などである。

しかし、自分の卒業すぐのことを思い返すと、はたし

て本当に新卒理学療法士のレベルは低下しているのだろうか。ここ何年間かの国家試験を見れば、恥ずかしながら意味すら分からない単語が出ている。随分以前、私の大先輩から実習生のよもやま話として、温度感覚を検査するのにポケットの中にあつた埃を丸めてライターで火をつけ、患者さんの腕に近づけたという信じられない実習生や、大転子の位置を尋ねられて堂々と「昨日解剖学の本を読んで勉強したんですよ」と言いながら、自信満々に肩の辺りを指差した実習生の話を聞いたことがある。知識の部分では最先端の勉強をして卒業してくる以上、レベルが下がるとは考え難い。では技術はどうか？この部分では「経験値の低さ」＝「技術の拙劣さ」という図式は理解できるが、そのことでレベルが低くなったとしてもそれは卒業教育をどうするかという就職先の施設なり卒業した養成校なり、所属する士会なり協会なりといった周りが考えなければならないことで、新卒理学療法士の問題ではない。ということで、結論として今の新卒理学療法士のレベルは低くない、といえる。

少なくとも患者さんに良くなってもらいたいと思う「気持ち」、現状の自分では十分な技術を提供できていないので少しでも高い技術を提供できるよう研鑽を積もうとする「姿勢」、ご家族を含めた対象者がどうしたらもっと生活しやすくなるんだろうかと考える「思いやり」、にレベル低下がないのであれば…。

(兵庫 No.146)

## 学会・研修会のお知らせ

利用者・スタッフに選ばれる

通所サービスセミナー

利用者の自立を引き出すリハビリプログラムと  
スタッフがやる気に満ちあふれるデイ実践

開催日：平成24年12月15日(日)13:30~16:30  
会場：ホテル熊本テルサ 熊本市水前寺公園 28-51  
講師：在宅療養支援 楓の風グループ  
代表 小室 貴之氏

定員：60名  
参加費：8,000円

【講習会内容】

- 2012年介護報酬改定が及ぼす通所サービスへの影響と今後の対応策
- 自立支援に貢献する効果的かつ豊富な生活リハビリプログラムの実際
- 通所サービスにおけるアセスメントの重要性とスタッフの専門性を高める人材育成の進め方
- まとめ・質疑応答

参加申し込み・問い合わせ

保険・医療・福祉サービス研究会

(<http://m.meducation.jp/>)

# 学術事業部文献紹介

## 「Sarcopenia, obesity, and natural killer cell immune senescence in aging: Altered cytokine levels as a common mechanism」

著者：Lutz CT, Quinn LS.

AGING； 4 (8) 535-546, 2012

人間は年齢を重ねることで、身体的にも生理的にも老化し、全身機能が低下していきます。その特徴として、サルコペニア（筋減弱症）と肥満が挙げられます。サルコペニアは筋肉量や筋力・身体機能低下が低下した状態であり、除脂肪体重（LBM）が減少するため免疫力が低下し、死亡率の増加につながります。肥満、特に内臓脂肪型肥満では、内臓脂肪組織よりアディポカインと呼ばれる炎症性サイトカインを分泌されます。これによりインスリン抵抗性が増加し、2型糖尿病や心血管疾患、認知症、癌などと関連し、死亡率の増加につながります。また、炎症性サイトカインを増加させることでサルコペニアも誘発します。そのためサルコペニアと肥満は合併することが多く、「Sarcopenic Obesity」と呼ばれており、疾病罹患や死亡リスクを大幅に増加させます。この論文ではサルコペニアと肥満が免疫系（特にNK細胞）にどのような影響を与えるかについて述べられています。

著者はまず、高齢者と若年者におけるBMIとNK細胞との関連性について調査しました。その結果、高齢者でのみBMIとNK細胞数に負の相関を認めました。これは、肥満により免疫機能が低下することを示唆しています。しかし、ある調査では、NK細胞は内臓脂肪組織に多く存在することが明らかとなっています。また、肥満により減少する抗炎症性サイトカインであるアディポネクチンはNK細胞を阻害することが明らかとなっています。

次に著者は、各サイトカインの作用に関して考察しています。炎症性サイトカインの中でTNF- $\alpha$ とIL-6がNK細胞減少に関与していることが明らかとなりました。他の炎症性サイトカインはNK細胞を増加させるか全く関与しないかのどちらかでした。TNF- $\alpha$ とIL-6の共通点は「骨格筋でも産生される」という点でした。

そこで、次は骨格筋より分泌される「ミオカイン」について考察しています。主なミオカインとしては上述し

（BDNF）「IGF-1」などがあります。これらは抗炎症作用、神経組織の成長促進、インスリン抵抗性の改善など様々な組織を良好な状態に保つ役割があります。著者は特にIL-15に注目しています。IL-15はレジスタンス運動や有酸素運動で骨格筋より分泌され、筋蛋白分解の抑制、インスリン感受性の改善に関与します。また、NK細胞のアポトーシスを阻害するため、NK細胞を増加させます。

これらより、NK細胞減少は骨格筋組織の減少が大きく関与しており、その中でもミオカインの一つであるIL-15が重要であることが明らかとなりました。しかし、肥満が全く関与しないわけではなく、脂肪組織から分泌される炎症性サイトカインが骨格筋の減少や悪液質につながるため、肥満の改善も重要であるとされています。

（文責：宇野 勲）

## 「実践Mook・理学療法プラクティス

### 「脊柱機能の臨床的重要性と上下肢との連関」

常任編集 嶋田智明 大峯三郎

ゲスト編集 小林 聖

発行所 文光堂

実践MOOK・理学療法プラクティスは、卒後間もない新人・若手理学療法士が臨床現場で知るべき臨床思考、知識、技術、手技、ノウハウを若い人向けに工夫された紙面、目次構成でわかりやすく伝達するシリーズです。価格も4500円とこの手の本としてはリーズナブルだと思います。

本書の中はパートを6項目に分けて構成されており脊柱を勉強する時に役に立つと思います。脊柱の存在意義を発生学的・発達学的に書いてある本はほとんどなく、なかなか興味深かったです。

「新人理学療法士にひとこと」という、ポイントをつかむのに新人でなくても役に立ちます。ミニレクチャーが、各項目についており、臨床的で本当に実践に役に立つと思いました。

圧迫骨折についての理学療法の項などは、片脚SLR→頭部拳上→両脚拳上→ブリッジ動作の順序で疼痛が消失

することが紹介されており、ブリッジができる様になると早期離床が可能になるということなど、専門性の高い内容が多いです。

内科系（脳卒中、parkinson 病）では緊張性頸反射がスポーツ活動や芸術の場面で利用されているということで、ジャンプをしてボールを補給する姿勢は ATNR、重量挙げは STNR を利用しています。金剛力士像や舞踏でも ATNR が利用されています。

「脳性まひと体幹の動きとの連関や日常生活動作における脊柱のアライメントと運動を分析する」項では、日常生活動作における体幹のかかわりや運動時、介助者に対するアプローチなども記載されています。各脊椎の可動域も表にして見やすく提示してあり理解を深めるのに役に立ちます。脊椎に対する疑問であれば、何でも調べることができるようになってきていると思われま

す。（文責：上村恭生）

## 「実践 Mook・理学療法プラクティス

### 肩関節運動機能障害～何を考え、どう対処するか」

常任編集 嶋田智明 大峯三郎

ゲスト編集 立花 孝

発行所 文光堂

肩関節運動機能障害は理学療法にとって遭遇頻度の高い症状です。本書は、「肩関節に運動機能障害を有する患者を受けもったらどうするか?」「ICF から見た理学療法介入のポイント」「機能障害と病態の関連性を理解する」という3つのパートから構成されています。

本書には随所に運動連鎖の話を盛り込まれ、わかりやすい内容となっています。また、「ミニレクチャー」や「新人理学療法士へひとこと」などのコーナーもあり、肩のエキスパートである著名な先生方が理学療法士の視点で、解剖・治療を解説され、その重要性を認識できる内容となっています。

運動機能障害が出る背景として、肩関節周囲炎や腱板断裂、肩関節不安定症（SLAP 損傷も含む）、スポーツ障害など各疾患別に病態運動学、評価のポイント、介入の方向性、治療展開からホームエクササイズ工夫のポイントまで根拠に基づき、写真や図などを用いてわかりやすく解説してあります。

肩は運動自由度が高く、関与するパーツが多い為、運動連鎖の起こり方に多くのバリエーションが生まれるた

め難しいという固定観念を持ってしまいがちです。しかし本書を通じ発想の転換を行うことで、臨床の現場で役立つ一冊だと思われま

す。（文責：高野直哉）

## 「近代ボバース概念 理論と実践

### —成人中枢神経疾患に対する治療—

著者 ベンテ・バツソ・ジェルスピック

発行所 産調出版

本書は、国際ボバース講習会講師会議認定アドバンス・インストラクターの著者による、成人中枢神経系に障害を呈した患者に対する評価と治療を、根拠に基づく治療を基に方向付けされています。

### 【書籍の内容】

#### 第1章 神経生理学の適応

##### 1.1 システムコントロール

運動と感覚運動統合に関係するいくつかのシステムと構造。この部分では、中枢神経系の構造と機能の概要を見て理解することができます。

##### 1.2 可塑性

障害後の中枢神経系の生得的変化と育成的変化について概説されています。

##### 1.3 中枢神経系障害後の再編成と結果

中枢神経系障害後の結果と可逆性の臨床場面への適応を試みています。そして、障害の影響によって引き起こされる感覚運動問題についての仮説構築が説明されています。また、痙性や連合反応のような臨床徴候についても議論されています。

#### 第2章 理学療法

正常バランスと正常運動、正常運動からの逸脱、セラピストの治療介入方法の選択について説明されています。

#### 第3章 評価

評価の基礎となる国際生活機能分類（ICF）の概観について述べています。そして、いくつかの効果測定も簡潔に記述されています。

#### 第4章 症例報告

実際にボバース概念を用いた治療を行ったシセルとリサ、2人の症例検討が提示されています。

この書籍は理学療法士、作業療法士、学生、ボバースインストラクターなどへ臨床における具体的な指針の手助けをしてくれる貴重な1冊です。興味のある方は是非、御一読ください。（文責：松村忠明）



『リハビリテーション・ケア合同研究会  
札幌 2012 に参加して』

熊本リハビリテーション病院 高原 和也

平成 24 年 10 月 11～13 日に札幌市で開催されました、リハビリテーション・ケア合同研究会に参加させて頂きました。今研究大会は、「広げよう繋げようリハケアの輪」のテーマの下、大会長講演、基調講演、各種シンポジウム、特別講演・学術講演、加えて約 920 題もの一般演題で構成され、興味深い研究大会でした。

僕は、回復期病棟に配属され今年で 3 年目になり、業務を行っています。回復期以外の急性期・生活期リハを経験したことがなく、生活期を具体的にイメージするのが難しい状況です。この事は、全国のセラピストにも共通することだそうです。今研究大会でのシンポジウム・一般発表でも「セラピストの増加に伴い、生活期を経験していないセラピストが増加している」、「若いスタッフに対していかに具体的な退院後をイメージさせることができるのか？」との意見が挙がりました。今回の研究大会では、生活期に関する発表を聞くことができ、生活期について考える良い機会となりました。

今回リハビリテーション・ケア合同研究会に参加させていただき、回復期病棟で働くことの難しさ・おもしろさ・やりがいを再認識することができました。また、回復期病棟を退院してからの生活は何年、何十年と続いていきます。患者様が自宅に帰られてからの生活をいかに想像できるように支援していくか、その為に本人様・ご家族様・他職種とコミュニケーションを取っていく大事かという事を強く感じました。

まだまだ経験年数は少ないですが、患者様の退院後の生活がよりよいものになるように日々努力していきたいと思えます。

## 学会・研修会のお知らせ

### 介護保険領域における研修会

今回、介護保険領域における研修会を、介護保険分野で全国的に展開されている、(株)シダの専務取締役でセラピストである、座小田孝安先生を講師に迎え開催いたします。

先生の全国展開をされている通所サービス、訪問系サービスを含めた多角的で先駆的な取り組みについてのお話しは、今後の私たちへの提言となることと思います。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

開催日：平成 25 年 1 月 19 日 (土)  
14:00～17:00 (13:30 受付開始)

会場：九州中央リハビリテーション学院  
〒860-0821

熊本市中央区本山 3-3-84  
TEL 096-322-2200 (代)

講師：座小田孝安氏 (作業療法士)  
株式会社 シダ 専務取締役

内容：講義

対象：医療保険福祉関連職種

定員：100 名

参加費：会員 1,000 円  
会員外 2,000 円

締め切り：平成 25 年 1 月 10 日 (木)

申込方法：必要事項を記入の上、[メールでのお申し込み](#)をお願いします。

必要事項：①氏名 (ふりがな) ②職種③経験年数④所属⑤会員番号 (理学療法士協会会員の場合)

#### 申し込みメールアドレス

[k-nakazono@miyukinosato.or.jp](mailto:k-nakazono@miyukinosato.or.jp)

<参加申し込み・問い合わせ>

御幸病院 リハビリテーション室

理学療法士 中園健太郎

TEL : 096-378-1166

FAX : 096-378-1762

E-mail : [k-nakazono@miyukinosato.or.jp](mailto:k-nakazono@miyukinosato.or.jp)



# PT Walker くまもとの理学療法情報 熊本

## ★通所リハビリテーション

介護老人保健施設、病院や診療所で提供される、利用者の心身機能の維持回復、日常生活の自立を助けることを目的とする、リハビリテーションをいいます。利用者は介護老人保健施設などを訪れてこれらのサービスを受けます。

通所リハビリテーションを利用できるのは、居宅（ここでいう「居宅」には、自宅のほか軽費老人ホームや有料老人ホームなどの居室も含みます）で生活を送る、「要介護」と認定された人です。ただし、主治医が、利用者の病状が安定しており、サービスの利用が必要だと認めた場合に限りです。

## ★介護予防通所リハビリテーション

介護予防を目的として、一定期間、介護老人保健施設、病院、診療所などで行われる理学療法、作業療法、そのほかの必要なリハビリテーションをいいます。

介護予防訪問リハビリテーションを利用できるのは、居宅（ここでいう「居宅」には、自宅のほか軽費老人ホームや有料老人ホームなどの居室も含みます）で生活を送る、「要支援」と認定された人です。ただし、主治医が治療を必要とする程度について厚生労働省令で定める基準に合致していると認めた場合に限りです。

### 県内で理学療法士が通所リハビリテーションに所属している施設を地区ごとに紹介します

◆：通所リハビリテーション ●：介護予防通所リハビリテーション

#### ★熊本市ブロック 菊阿地区

- 通所リハビリテーション熊リハ病院◆●
- 菊陽台病院通所リハビリテーション◆●
- 熊本セントラル病院  
通所リハビリテーション事業所◆●
- 通所リハビリテーションセンターおおづ◆●
- 大阿蘇病院デイケアセンター◆●
- 通所リハビリテーションセンターすがる◆●
- ケアセンターあそ◆●
- 介護老人保健施設サンライズヒル◆●
- 介護老人保健施設おおつかの郷◆●
- 介護老人保健施設リハセンターひばり  
デイケアセンター◆●
- 介護老人保健施設阿蘇グリーンヒル◆●
- 老人保健施設愛・ライフ内牧  
通所リハビリテーション◆●
- おぐに老人保健施設◆●
- つくれクリニック◆●
- 岸病院デイケアセンター◆●
- 東熊本第二病院  
通所リハビリテーションセンター◆●

#### ★熊本市ブロック 東地区

- 指定通所リハビリテーション事業所くわみず病院◆●
- 指定通所リハビリテーション事業所デイケア成仁◆●
- 熊本託麻台病院◆●
- 西日本ケアセンター◆●
- 本庄内科医院◆●
- 足立・有馬小児科・神経内科◆●
- 赤とんぼ通所リハビリテーション◆●
- 介護老人保健施設高齢者支援センター  
コスモピア熊本◆●
- おとなの学校本校◆●
- 介護老人保健施設総合ケアセンター  
第二コスモピア熊本◆●
- 平成唯仁館◆●
- 介護老人保健施設ケアポート益城◆●
- おびやまデイケアセンター◆●



\* 熊本県介護サービス情報公表センターのHP(平成24年2月現在)および平成23年10月1日現在の会員名簿を元に作成しています。記載漏れ等ありました場合は御連絡下さい。

# 医療・介護ナビ

## お役立ち便利グッズ紹介

### めぐりズム

(家庭用蒸気温熱パッド)

肩や腰、膝関節などの節々の痛みが気になる季節になりました。そんな時、患部を温めると緊張がほぐれ、痛みが和らぐようです。

「めぐりズム」は肌に直接張る蒸気温熱シート。病院で行うホットパックのようなものです。約40度の快適温度が5〜8時間続き、蒸気で体の奥深くまで温めて血行をよくし、たまった筋肉の疲れや痛みのもとを流れやすくします。

使い捨てカイロと仕組みは似ていますが、カイロは防寒・保温が狙い。めぐりズムは凝りや疲れの緩和などを目的にした温熱効果を持つ一般医療機器です。

伸縮素材で動いてもはがれにくく、関節や肩などにぴったりフィット。蒸気はミスト状で服を濡らすこともありません。使う個所によってサイズ、枚数もいろいろです。



快適温度で痛み和らげ

### 滑り止め靴下・

ゴムなしソックス

足もとが少し頼りなくなると廊下や階段などで滑りそうになったり、畳から立ち上がる時に踏ん張りが利かず、滑ったりしたことはありませんか？

「滑り止め靴下」は足裏に滑り止め素材をコーティングした靴下。親指部分が分かれた足袋タイプなので横ずれせず、歩きやすく安全です。

一方、「ゴムなしソックス」は足口にゴムが入っておらず、足の締め付けによる疲労を防ぎ、着脱を楽にしてくれる靴下です。締め付けがきついと肌に赤い跡ができてかゆくなることもあるし、足がむくんだりすることもあり、足口を切り広げている人をよく見かけます。こんな人にはきつと役立つはずですよ。

材質は毛混や綿混でサイズはM・Lがあります。



転倒防止や着脱を

### あゆみ室内用シューズ

エスパド

足が弱ってくると、自然とつま先を上げなくなり、床をすって歩くようになります。そんな歩き方になると、踵がかかかないスリッパは脱げやすく、ちょっとした段差でもつまずいて転倒しやすくなります。

「あゆみ室内用シューズエスパド」は、甲から踵まで足全体をすいつくようにやさしく包み込み、ほどよい滑り止めで歩行を助けます。伸びのいいニット素材で、履き心地は柔らかく、踵にループがついているので足入れも簡単です。

和柄、メッシュタイプなど色々素材のタイプも豊富。抗菌・防臭で手洗いも可能です。また、履いたり脱いだりするのが面倒な人には、足を入れやすい浅めの踵と脱げにくい設計で、衝撃吸収の中敷きも入った「チャルパー」がお勧めです。



足を包み込み安全に



## 「こんな時、どうすればいい？」 仕事が忙しくてなかなか運動する時間がとれない場合

「健康な体づくりに適度な運動は欠かせない。もちろん分かってはいるが、今の忙しい生活に運動をどう組み込めばいいのかわからない。」そんな方はとても多く、運動ができない理由として最も多いのは時間的な問題だとも言われています。

具体的な運動時間の目安としては、1回あたり10～60分程度で合計1日30分以上、あるいは1週間あたり150分以上とされています。運動の種類には**有酸素運動**（酸素を十分に取り入れて、血糖や脂肪を効率よく燃焼させる。例：歩行、水泳）と**無酸素運動**（筋肉量自体を増やし、基礎代謝を増加する。例：筋力トレーニング）がありますが、



どちらも筋肉量や筋力を増加させるとともに、インスリンの働き目を良くすることが知られています。しかし、1週間あたり150分以上という目安は忙しい方にとっては達成できない高い目標になってしまいます。そこで、今回は、**運動の時間を十分にとれない場合の対処法**をご紹介します。

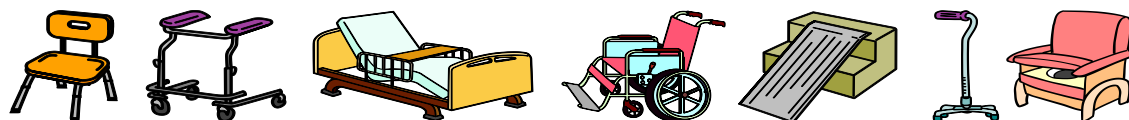
例えば、テレビを見ながら竹踏みをする、通勤や買い物で車を使わずに歩く、エレベーターやエスカレーターを使わずに階段を昇り降りするなど、**日常生活の活動をできるだけ身体を使って行うこと**です。また、同じ歩くにしても、少し速足で歩く、5分よりは10分と継続時間をできるだけ長くするのも消費カロリーを増やすには有効です。あわせて万歩計を使用すると、自身の日々の運動量を把握することができますのでとても良いと思います。「1日1万歩」とよく言われていますが、**1日の目標歩数は、男性9200歩・女性8300歩**で、70歳以上では、男性6700歩・女性5800歩とされています。これからウォーキングをはじめるとは、いきなり1万歩は無理ですので、まずは**日頃の歩数に1000歩増やすことを目標**にしてみましょう。



運動といっても実に様々なものがあります。まずは簡単なものから取り組み、運動を身近なものにしてみましょう。また、**運動の効果は3日以内に低下し、1週間で消失する**とされていますので、運動の習慣がついてきた方は運動の期間があまり空かないようにし、**2～3日に一回のペースで運動を行う事をお勧め**します。

# 賛助会員一覧

施設名	〒	住所	TEL
有園義肢株式会社	866-0815	八代市長田町 3300	0965-33-3983
アメックス熊本株式会社	862-0913	熊本市東区尾ノ上 1-3-9	096-384-6565
(有) 熊本託麻義肢	861-8034	熊本市東区八反田 2-1-49	096-380-8673
(株) 藺田義肢製作所	860-0811	熊本市中央区本荘 4-5-5	096-364-9376
(株) タガワブレース	869-0605	宇城市小川町南部田 1555-1	0964-43-0503
(株) 徳田義肢製作所	862-0971	熊本市中央区大江 6-27-20	096-364-0855
(株) ホワシ	861-8045	熊本市東区小山 5-19-55	096-389-5411
(株) ミタカ	861-3107	上益城郡嘉島町上仲間 850-2	096-237-2257
帝人在宅医療株式会社 熊本営業所	862-0913	熊本市東区尾ノ上 2-23-1	096-360-7333
(有) 三栄商会 サンエイ・メディカル	861-0516	山鹿市中央通 406	0968-43-7755



## 編集後記

実は最近6kgのダイエットに成功しました。我ながらよく頑張ったと思います。しかし一つだけ難点が、、、。生後3ヶ月の息子を抱っこするのに、お腹のふくらみがなくなり、抱っこしにくくなったことです(^\_^)。

(K・H)

社団法人熊本県理学療法士協会広報誌「かくどけい」

号 数

第 106 号 通算 143 号

発 行 日

平成 24 年 11 月 26 日

発 行 人

社団法人熊本県理学療法士協会

〒861-8045 熊本市東区小山 2 丁目 25-35

TEL/FAX 096-389-6463

S T A F F

坂田 大介

岩村 泰年

江口 宏

中野 真実

緒方 美湖

山田祐理子

奥 蘭 彩

富 永 誠

野田 智愛

北岡 千春

渡邊 知子

松本 美香

有馬 正英

古川 晃次

財満 麻美

渡邊 大輔

福田 圭祐

南 留美子

岩見 幸省

野尻 晋一 (表紙)



# 事業予定表

12 月		1 月		2 月	
日	曜	日	曜	日	曜
1	土	「熊日・スミセイさわやか介護セミナー」	1	火	
2	日	第44回市民公開講座 ※	2	水	
3	月		3	木	
4	火	法人事業審議委員会会議	4	金	
5	水	第3回部長会議 ※	5	土	
6	木		6	日	
7	金	熊本県医療・保健・福祉連携学会企画委員会	7	月	
8	土	第2回ブロック長・地区長会議 熊本市ブロック会議	8	火	
9	日		9	水	第3回拡大理事会・第11回理事会
10	月		10	木	
11	火		11	金	
12	水	第10回理事会	12	土	
13	木		13	日	
14	金		14	月	
15	土		15	火	
16	日		16	水	
17	月		17	木	
18	火		18	金	
19	水		19	土	
20	木	管理者教育カリキュラム(~12/21)	20	日	糖尿病小委員会研修会
21	金		21	月	かくどけい編集会議 表彰審査委員会会議
22	土		22	火	
23	日		23	水	シティFM放送出演
24	月		24	木	
25	火	第3回県南ブロック勉強会	25	金	
26	水	厚生部会議	26	土	
27	木		27	日	第4回小児領域小委員会
28	金		28	月	かくどけい発送作業
29	土		29	火	
30	日		30	水	
31	月		31	木	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県北ブロック卒後教育研修会 (初級編：ラポール形成)</li> <li>(中級編：全人間的アプローチ)(12/2)</li> <li>● 熊本市ブロック中央地区卒後教育研修会 (中級編：KYT)(12/2)</li> <li>● 熊本市ブロック北地区卒後教育研修会 (中級編：全人間)(12/5)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第4回県南ブロック勉強会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 介護保険領域における研修会</li> <li>● 第2回介護予防勉強会 (熊本市ブロック北地区)</li> <li>● 八代ブロック勉強会</li> <li>● 第6回天草ブロック勉強会</li> <li>● 第5回県南ブロック勉強会</li> <li>● 特別講義(天草ブロック)</li> </ul>	

県コード

1	北海道
2	青森
3	秋田
4	岩手
5	宮城
6	山形
7	福島
8	茨城
9	栃木
10	群馬
11	埼玉
12	千葉
13	東京
14	神奈川
15	新潟
16	富山
17	石川
18	福井
19	山梨
20	長野
21	静岡
22	岐阜
23	愛知
24	三重
25	京都
26	滋賀
27	奈良
28	和歌山
29	大阪
30	兵庫
31	岡山
32	広島
33	鳥取
34	島根
35	山口
36	徳島
37	高知
38	香川
39	愛媛
40	福岡
41	長崎
42	熊本
43	大分
44	佐賀
45	宮崎
46	鹿児島
47	沖縄
48	海外

最終学歴

1	中学（旧制小学・高等小学校含む）
2	高等学校
3	専門学校
4	短期大学（旧制高等学校含む）
5	大学（学位授与機構含む）
6	大学院修士課程修了（博士課程前期）
7	大学院博士課程修了（博士後期課程）
8	高等専修学校
9	その他

学位称号

1	なし（学位または称号は有していない）
2	学士
3	修士
4	博士
5	準学士
6	専門士
7	高度専門士
8	その他

施設区分 I

A	B		
1	大学病院	1	厚労省（含：国立病院機構）
2	総合病院	2	文科省（含：国立大学法人）
3	一般病院	3	労働者健康福祉機構
4	老人病院	4	旧三公社（たばこ産業・JR・NTT）
5	小児施設	5	都道府県
6	老人施設	6	市町村
7	教育施設	7	日赤
8	行政機関	8	済生会
9	保健所	9	北海道社会事業協会
10	その他	10	厚生連
11	不明	11	国民健康保険団体連合会
		12	厚生年金事業振興会
		13	厚生団
		14	船員保険会
		15	健康保健組合及びその連合会
		16	共済組合及びその連合会
		17	国民健康保険組合
		18	公益法人
		19	医療法人
		20	私立学校法人
		21	会社
		22	その他の法人
		23	老人福祉施設
		24	身体障害者更生援護施設
		25	児童福祉施設
		26	知的障害者援護施設
		27	その他の社会福祉施設
		28	個人
		29	その他
		30	不明

異動届記載用資料

施設区分Ⅱ

A		B	
1	医療施設	病院	1 大学病院
			2 総合病院
			3 老人病院
			4 小児病院
			5 一般病院(上記以外) 一般病床
			6 一般病院(上記以外) 療養型病床
			7 感染症病院
			8 精神病院
			9 結核病院
			10 ハンセン病院
			11 地域支援病院
			12 その他
2	医療施設	診療所	1 有床診療所
			2 無床診療所
			3 療養型病床群
			4 その他
3	医療施設	不明	1 その他
4	医療福祉中間施設	医療福祉中間施設	1 介護老人保健施設
			2 老人訪問看護ステーション
			3 老人デイサービス
			4 老人デイケア
			5 その他
5	老人福祉施設	老人福祉施設	1 養護老人ホーム
			2 特別養護老人ホーム
			3 軽費老人ホーム
			4 老人デイサービス
			5 老人福祉センター
			6 老人短期入所施設
			7 有料老人ホーム
			8 介護付き有料老人ホーム
			9 在宅介護支援センター
			10 高齢者総合相談センター
			11 その他
6	介護保険法関連施設	介護保険法関連施設	1 地域包括支援センター
7	身体障害者福祉施設	身体障害者更生養護施設	1 肢体不自由者更生施設
			2 重度身体障害者更生養護施設
			3 重度障害者授産施設
8	身体障害者福祉施設	身体障害者療護施設	1 身体障害者療護施設
9	身体障害者福祉施設	重度身体障害者授産施設	1 重度身体障害者授産施設
10	身体障害者福祉施設	身体障害者福祉センター	1 身体障害者福祉センター A型
			2 身体障害者福祉センター B型
			3 在宅障害者デイ・サービス施設
11	身体障害者福祉施設	身体障害者更生相談所	1 身体障害者更生相談所
12	児童福祉施設	知的障害児施設	1 知的障害児施設
13	児童福祉施設	知的障害児通園施設	1 知的障害児通園施設
14	児童福祉施設	肢体不自由児施設	1 肢体不自由児施設
			2 肢体不自由児通園施設
			3 肢体不自由児療護施設
15	児童福祉施設	重症心身障害児施設	1 重症心身障害児施設
16	児童福祉施設	情緒障害児短期治療施設	1 情緒障害児短期治療施設
17	児童福祉施設	児童相談所	1 児童相談所
18	児童福祉施設	心身障害児総合通園センター	1 心身障害児総合通園センター

A		B	
19	精神障害者社会復帰施設	精神障害者生活訓練施設	1 精神障害者生活訓練施設
			2 精神障害者授産施設
			3 精神障害者地域生活支援センター
20	精神障害者社会復帰施設	精神保健福祉センター	1 精神保健福祉センター
21	精神障害者社会復帰施設	精神障害者社会復帰促進センター	1 精神障害者社会復帰促進センター
22	精神障害者社会復帰施設	精神障害者グループホーム	1 精神障害者グループホーム
23	精神障害者社会復帰施設	精神障害者小規模作業所	1 精神障害者小規模作業所
24	知的障害者福祉施設	知的障害者支援施設	1 知的障害者更生施設
			2 知的障害者授産施設
25	知的障害者福祉施設	知的障害者更生相談所	1 知的障害者更生相談所
26	障害者自立支援施設	指定障害者福祉サービス事業所	1 生活介護事業所
			2 自立訓練(機能訓練)事業所
			3 多機能型事業所
27	障害者自立支援施設	指定障害者支援事業所	1 生活介護支援事業所
			2 自立訓練(機能訓練)支援事業所
28	障害者自立支援施設	指定相談支援事業所	1 指定相談支援事業所
29	障害者自立支援施設	指定地域活動支援センター	1 指定地域活動支援センター
30	教育・研究施設	特別支援学校	1 肢体不自由児
			2 知的障害児
			3 その他
31	教育・研究施設	教育・研究施設	1 理学療法3年制専門学校教員
			2 理学療法4年制専門学校教員
			3 理学療法短期大学教員
			4 理学療法大学教員
			5 理学療法以外の大学教員
			6 研究施設
			7 その他
32	行政関係施設	行政	1 保健所
			2 市町村保健センター
			3 国
			4 都道府県
			5 市
			6 町
			7 村
			8 社会福祉協議会
			9 身体障害者福祉協議会
			10 その他
33	健康産業	健康産業	1 スポーツ関係施設
			2 フィットネス施設
34	その他	その他	1 職業センター
			2 リハ関連企業
			3 一般企業
			4 補装具作成施設
			5 訪問看護ステーション(老人訪問看護ステーション)
			6 介護サービス企業
			7 自営・開業
			8 自宅(勤務しているが自宅会員登録)
			9 休業中(会員だが休業しているもの)
			10 その他
35	不明		1 不明

# 会員異動届

注) 自宅住所を(室番号まで)を必ずご記入下さい。  
 自宅会員になった場合は、自宅住所の都道府県理学療法士会に所属となります。自宅住所(室番号まで)・電話番号を必ずご記入ください。  
 海外に異動の場合、都道府県士会に所属せず海外会員になることも可能です。  
 海外会員になる方は、海外住所(海外勤務先・海外自宅)・国内住所(何らかの連絡がとれる住所)・Eメールアドレスを必ずご記入ください。  
 休会中に、自宅住所・氏名等の変更がある場合にも、異動届を提出下さい。

県外異動・県内異動 (○で囲む)	在籍状況	在会・休会 (○で囲む)	提出日	平成 年 月 日			
	変更事項	改姓・自宅住所・勤務先 (○で囲む)	異動日	平成 年 月 日			
フリガナ			旧 姓	会員番号(右詰めでご記入ください)			
氏 名	姓	名	印				
所 属	県内異動	士会所属	入会年度	S・H 年度			
	県外異動	士会から 士会へ	新人教育プログラムの修了	済・未 (○で囲む)			
自 宅 自宅会員は 必ず記入	〒 [ ][ ][ ][ ] - [ ][ ][ ][ ][ ]						
	住所	都道府県					
	電話	FAX					
Eメールアドレス							
勤 務 先  自宅会員の場合 ”自宅” と記入する	フリガナ						
	名 称						
	所属部署						
	〒 [ ][ ][ ][ ] - [ ][ ][ ][ ][ ]						
	住所	都道府県					
電話							
FAX							
施設区分	I	A群	—	B群	II	—	

会費納入	本部会費	年度納入済	連絡事項
	都道府県士会費	年度納入済	
	クレジットカード発行 (○で囲む)	済 未	

※ 口座変更を希望される場合は  
 クレジットカード裏面コールセンターまでご依頼下さい。

<都道府県士会確認欄>

<士会受付番号> \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 士会事務局長 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_ 平成 年 月 日

< 個人情報について >

当届用紙より得た情報は、下記の目的以外には使用しません。

1. 名簿管理・発行
2. 協会が発行する機関紙等の発送、及び会員皆様の福利厚生を目的としたご案内等の発送
3. 会員の分布状況の把握 (集計数値を使用します)



# 社団法人 熊本県理学療法士協会 退 会 届

社団法人 熊本県理学療法士協会長 殿

この度 私は、社団法人熊本県理学療法士協会を退会しますのでお届け致します。

提出日 平成 年 月 日

退会日 平成 年 月 日

氏 名	印	会員番号	
勤 務 先			

※ 勤務先は熊本県理学療法士協会員としての勤務先をご記入ください。

※ 自宅会員の場合、「自宅」と記入ください。

